

ELECOM

ウイルスチェック機能付 USB 2.0 フラッシュメモリ MF-TMU2xxx シリーズ ユーザーズマニュアル

はじめに

このたびは、ウイルスチェック機能付 USB2.0 フラッシュメモリ MF-TMU2xxx シリーズをお買い上げいただきありがとうございます。
本製品は、パソコンの USB ポートに接続してデータを読み書きするフラッシュメモリです。
USB メモリ使用時のウイルス感染を防止するウイルスチェック機能を搭載しています。また、保存領域にパスワードを設定して、データを自動的に暗号化して保存することにより、セキュリティを高めています。
本ユーザーズマニュアルは、本製品のセットアップについて説明しています。ご使用になる前に本ユーザーズマニュアルをよくお読みになり、正しくセットアップをおこなってください。

ご使用の前に

安全にご使用いただくために

- 1 本製品の取り付け、取りはずしの際には、必ずパソコンの本体および周辺機器メーカーの注意事項に従ってください。
- 2 本製品の分解、改造、修理をご自分でおこなわないでください。
火災や感電、故障の原因になります。また、故障時の保証の対象外となります。
- 3 本製品および本製品を取り付けたパソコン本体を、水を使う場所や湿気の多いところで使用しないでください。
火災や感電、故障の原因になります。
- 4 本製品の取り付け、取りはずしの際には、本製品に触れる前に金属製のもの(スチールデスク、ドアのノブなど)に手を触れて、静電気を除去してから作業をおこなってください。
静電気は本製品の破損の原因になります。
- 5 異常を感じた場合はすぐに使用を中止し、お買い上げの販売店、もしくは当社総合インフォメーションセンターにご相談ください。
- 6 本製品は乳幼児の手の届かないところで使用・保管してください。誤って飲み込むと、窒息したり、身体に悪影響をおよぼしたりする恐れがあります。万一、飲み込んだと思われる場合は、すぐに医師にご相談ください。

ご使用にあたって

- 本製品を接続した状態でパソコンを起動した場合、前回異常終了がなくてもスキャンディスクが自動的に実行される場合があります。
- 本製品を接続した状態でパソコンを起動した場合、これまでに接続したことのあるデバイスであっても新たにデバイスを認識する表示が出る場合があります。
- 本製品を接続してから認識されるまでに約1分ほど時間がかかる場合があります。パソコンの再操作が可能になるまでお待ちください。
- 本製品は著作権保護機能には対応しておりません。
- パソコンの電源が入った状態で、本製品をパソコンから取り外す際には、タスクトレイまたは通知領域上で、「ハードウェアの安全な取り外し」を行ってください。無理に取り外しますと、ファイルが消失したり、故障の原因になります。
- 消失・破損したデータに関しては、当社は一切の責任を負いかねます。
- 本製品は、正しい向きでまっすぐ抜き差ししてください。
- スタンバイや休止状態、スリープ状態には対応しておりません。
- 本製品を湿気やホコリの多いところで使用しないでください。
- 本製品に強い衝撃を与えないでください。
- お手入れの際には乾いたやわらかい布で軽く拭いてください。ペンジン、シンナー、アルコールなどは使用しないでください。

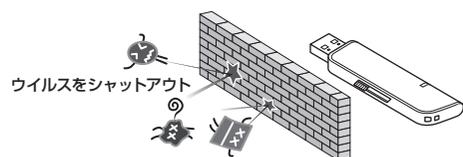
ご購入時の状態について

- 本製品ははじめにパスワードを設定した上で、お使いください。パスワードを設定しないと、本製品をお使いいただけません。

本製品について

ウイルスチェック機能について

本製品は使用時のウイルス感染を防止するウイルスチェック機能を搭載しています。本製品にデータを書き込む際には、ウイルスに感染していないかを監視して、自動的に感染ファイルを隔離します。
本製品を介したウイルス感染を防止することができます。



ウイルスチェック機能(Trend Micro USB Security for Biz)について詳しくは、以下の Web サイトをご覧ください。

<http://jp.trendmicro.com/jp/products/enterprise/tmusb/>

※ Trend Micro USB Security™ for Biz の使用期限は 2015 年 12 月までです。また、本ソフトウェアにはアクティベーション後 1 年間のウイルスパターンファイルのアップデートを含むサポートサービス料金が含まれています。

セキュリティ機能について

本製品はハードウェアによる自動暗号化機能を搭載しています。すべてのデータを強制的に暗号化して保存しますので、万一、紛失・盗難等があっても情報の流出を防ぐことができます。自動暗号化機能により、パスワード設定後は自動的にすべてのデータを暗号化してから書き込みをおこなうので、暗号化されていないデータが書き込まれることはありません。またデータの読み出しにおいても、自動的に復号化が行われるので、暗号化を意識することなく、直接本製品内のデータを読み書きすることができます。
暗号化方式には、米国政府標準で日本政府も推奨している信頼性の高い「AES 方式」を採用しています。



- 本製品は、内部データを第三者に漏洩されることを防ぐため、パスワードを設定回数間違えると内容をすべて消去してしまいます。パスワードは絶対に忘れないように管理してください。
- 正しいパスワードを入れる事ができないことによる、データの強制消去、内容確認が不可能になる事態、その他に対して当社は一切の責任を負いかねます。また、一切の補償をいたしません。

ドライブについて

本製品をパソコンに接続すると、コンピューター (Windows Vista® はコンピュータ、Windows® XP はマイコンピュータ) に次の 2 つのアイコンが表示されます。

ドライブ文字(アルファベット)はご使用環境により異なります。



- ① ユーザードライブ
データを読み書きするためのメモリ領域です。管理用ドライブ内の「ELECOM_USB(.exe)」を起動して、ドライブを開くまで使用できません。

このドライブには、ウイルスチェック機能があり、ウイルスの感染を防止します。
詳しくは「セキュリティ機能を使ってデータを読み書きする」(裏面)をお読みください。
※例えば、パソコンの最後のドライブが E の場合、「リムーバブル ディスク (F:)」と表示されます。

Windows® 7 の場合、「ドライブを開く」を実行しないと、ユーザードライブのアイコンは表示されません。

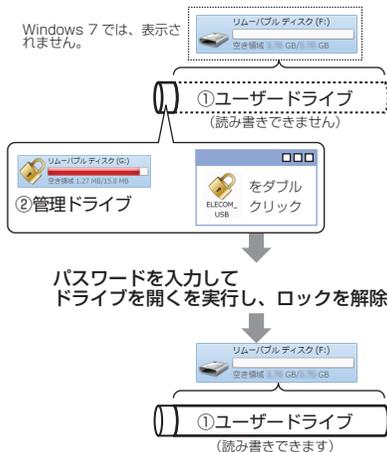
- ② 管理用ドライブ
「①ユーザードライブ」(データを読み書きするためのメモリ領域)にパスワードを設定するためのソフトウェア「ELECOM_USB(.exe)」が保存されています。
※例えば、「①ユーザードライブ」が F の場合、「リムーバブル ディスク (G:)」と表示されます。

管理用ドライブをデータの読み書きに使用することはできません。

パスワード設定について

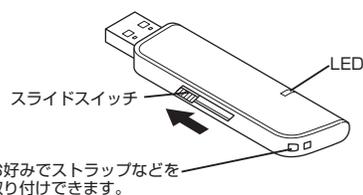
ユーザードライブにパスワードを設定すると、パスワードを入力して「ドライブを開く」を実行するまで、読み書きできなくなります。

Windows® 7 の場合、「ドライブを開く」を実行しないとユーザードライブのドライブアイコンは表示されません。



ソフトウェア「USB メモリランチャー」についての詳細は、「セキュリティ機能を使ってデータを読み書きする」(裏面)をお読みください。

本製品の各部の名称

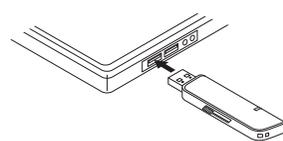


お好みでストラップなどを取り付けることができます。

パソコンと接続する

パソコンに接続する

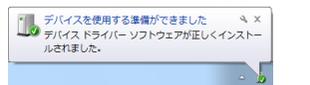
- 1 スライドスイッチを使い USB コネクタをスライドさせます。
- 2 パソコンの USB ポートに接続します。



本製品の USB コネクタの向きと、USB ポートの上下方向に注意して接続してください。

USB ハブやキーボードの USB ポートには接続しないでください。正常に動作しないことがあります。

- 3 タスクトレイまたは通知領域にインストール完了のメッセージが表示され、自動的に認識されます。



2 回目以降は挿入するだけで使用できます。

- 4 本製品にアクセスできます。自動再生画面が表示された場合は、動作を選択します。



※空の場合などは、直接リムーバブルディスクが開きます。

デバイス認識中およびデータ転送時に LED が赤色で点滅します。

お使いのパソコンが USB2.0 に対応していない場合

手順 2 で本製品をパソコンの USB ポートに接続すると、タスクトレイまたは通知領域に次のメッセージが表示されます。

- Windows Vista®, Windows® XP サービスパック 3 以降のとき
「さらに高速で実行できるデバイス」

これは、本製品は USB2.0 に対応していますが、接続した USB ポートが USB2.0 に対応していないために表示されるメッセージです。この場合、本製品は USB2.0 ではなく 1.1 の速度で動作します。

取りはずすには

パソコンの電源が入った状態での本製品の取り出し時、スタンバイや休止状態に移行する前は、次の手順で本製品を取りはずしてください。

- 本製品を読み書きしている状態(LED: 赤色点滅)で、本製品をパソコンから取りはずさないでください。本製品の故障や、ファイルの破損・消失の原因となります。
- 本製品のユーザードライブは、パソコンから取りはずすとロックされます。パソコンから取り外さずに再起動したり、ユーザー切り替えを行うとロックがかけられないことがあります。使用後は、必ずパソコンから取り外してください。

- 1 本製品を読み書きしていないこと(LED: 消灯)を確認します。
- 2 タスクトレイまたは通知領域にあるアイコン()を左クリックします。

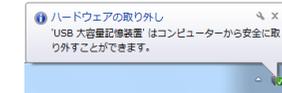
Windows® 7 で通知領域に が表示されている場合は、 をクリックすると が表示されます。

- 3 表示されたメッセージをクリックします。

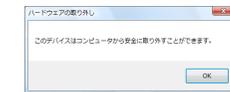
本製品以外に他の USB 機器や PC カードを使用している場合は、両方の名前が表示されます。この場合は本製品のメッセージ(「MF-TMU2 の取り出し」、「USB 大容量記憶装置デバイス」、「USB 大容量記憶装置」)をクリックしてください。

- 4 「安全に取り外すことができます。」という内容のメッセージが表示されます。

● Windows® 7、Windows® XP の場合
手順 5 に進みます。



● Windows Vista® の場合



OK ボタンをクリックし、手順 5 に進みます。

- 5 本製品をパソコンの USB ポートから取りはずします。

本製品のセキュリティ機能については裏面をお読みください。

[ウイルスチェック機能のサポートサービス有効期間が終了されたお客様へ]

お使いのパソコンに以下のソフトウェアがインストールされている場合、ウイルスチェック機能(Trend Micro USB Security for Biz)は、そのソフトウェアが持っているウイルスパターンファイルをコピーし、ウイルスチェックを行うことが可能です。(ローカルアップデート機能)

- ウイルスバスター 2010
- ウイルスバスターコーポレートエディション 8.0 SP1
- ウイルスバスターコーポレートエディション 10.0
- ウイルスバスターコーポレートエディション 10.5
- Trend Micro ウイルスバスタービジネスセキュリティ 3.6
- Trend Micro ビジネスセキュリティ 5.0
- Trend Micro ビジネスセキュリティ 5.1
- Trend Micro ビジネスセキュリティ 6.0

但し、ウイルスバスターコーポレートエディション 10.0、10.5 及び Trend Micro ビジネスセキュリティ 6.0 など、「スマートスキャン」機能が有効となっている環境下ではローカルアップデート機能を利用することはできません。その場合、サポートサービスの有効期間終了後はウイルスパターンファイルのアップデートができません。

尚、ローカルアップデート機能に対応しているソフトウェアについてはサポート状況により変更される場合がありますので、最新の情報は下記 URL、もしくはトレンドマイクロ株式会社の Web サイトでご確認ください。

<http://jp.trendmicro.com/jp/products/enterprise/tmusb/requirements/index.html>

セキュリティ機能を使ってデータを読み書きする

パスワードを設定してデータを保護するセキュリティ機能は、本製品に保存されているソフトウェア「USB メモリランチャー」を使用します。

本製品を同時に複数台使用することはできません。

USB メモリランチャーを起動する

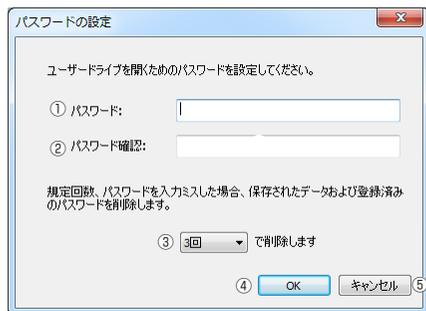
- 1 コンピューター (Windows Vista® はコンピュータ、Windows® XP はマイコンピュータ) から管理ドライブをダブルクリックします。
例えば、「①ユーザードライブ」がF の場合、管理ドライブはG になります。
- 2 「ELECOM_USB(.exe)」をダブルクリックします。「USB メモリランチャー」が起動し、メイン画面が表示されます。



この画面でまず最初にパスワードを設定してください。パスワードを設定しないと本製品のユーザードライブは使用できません。

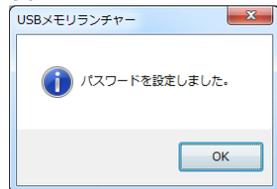
パスワードを設定する

- 1 メイン画面の、「パスワードの設定」をクリックします。パスワードの設定画面が起動します。
- 2 パスワードの設定画面で、各項目を入力して「OK」をクリックします。



- ①「パスワード」
任意のパスワードを半角英数字 8 文字以上、16 文字以内で入力します。
 - ②「パスワード確認」
①で入力したパスワードを再度入力します。
- 解除される恐れがあるような、簡単なパスワードを設定しないように注意してください。
- ③パスワード入力ミス設定回数
パスワードの入力時に、ここで設定した回数に入力をまちがえると、ユーザードライブを強制的にフォーマットします(3回～10回)。
 - ④[OK]ボタン
 - ⑤[キャンセル]ボタン

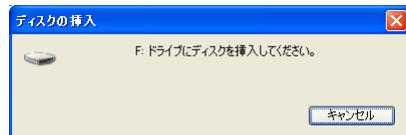
- 3 次の画面が表示されるので、「OK」をクリックします。



ユーザードライブを開く

ユーザードライブにアクセスするには、次の手順でロックを解除します。

- 1 Windows Vista® および Windows® XP の場合は、ロックを解除せずに、パスワードを設定したデータエリアを先にダブルクリックした場合は、次の画面が表示されます。[キャンセル]ボタンをクリックしてください。



Windows® 7 の場合は、ロック中はドライブアイコンは表示されません。

- 1 コンピューター (Windows Vista® はコンピュータ、Windows® XP はマイコンピュータ) から管理ドライブをダブルクリックします。
例えば、「①ユーザードライブ」がF の場合、管理ドライブはG になります。
- 2 ご使用環境により、「ユーザードライブ」と「管理ドライブ」の表示順が逆になる場合があります。



- 3 メイン画面の、「ドライブを開く」をクリックします。
- 4 「パスワード:」を入力し、「OK」をクリックします。



- 3 パスワードの入力に設定回数失敗すると、USB ディスクのフォーマットが実行されてしまいます。正しいパスワードを入力してください。



- 3 ユーザードライブが使用可能になります。

- 1 ドライブを開くを実行してロックを解除すると、本製品をパソコンから取りはずすまでは、データを読み書きできる状態です。
本製品をいったんパソコンから取りはずし、次回パソコンに接続したときは、ロックのかかった状態になります。パソコンから取りはずすときにロックをかけ直す必要はありません。

- 2 初めて使用される場合は、ウイルスチェック機能のアクティベーション機能が表示されます。アクティベーションしないと、ウイルスチェック機能は動作しませんので、必ずアクティベーションを完了させてからご使用ください。



画面の指示にしたがって、操作してください。詳しくは、以下の Web サイトをご覧ください。

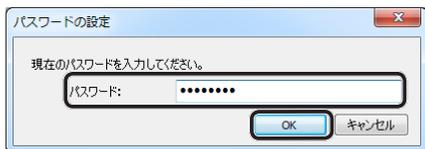
<http://jp.trendmicro.com/jp/products/enterprise/tmusub/>

パスワードを変更する

現在設定しているパスワードを変更することができます。

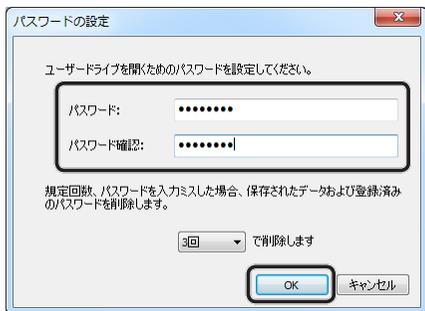
- 1 ユーザードライブが開いている状態では、パスワードの変更はできません。USB メモリをいったん取り外して、パソコンに接続しなおしてから以下の操作を行ってください。

- 2 「USB メモリランチャー」を起動し、メイン画面の「パスワード」をクリックします。



パスワードの設定画面が表示されます。

- 3 パスワードの設定画面で、各項目を入力して「OK」をクリックします。



- 4 次の画面が表示されるので、「OK」をクリックします。



- 3 パスワードを変更したあと、本製品をパソコンから取りはずすまでは、ユーザードライブのデータを読み書きできる状態です。

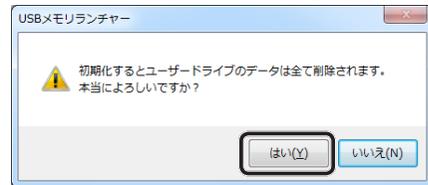
ユーザードライブを初期化する

ユーザードライブをフォーマット(初期化)します。フォーマット後は市販のデータ復旧ソフトウェアでの復旧はできません。

- 1 ユーザードライブが開いている状態では、ユーザードライブの初期化は実行できません。USB メモリをいったん取り外して、パソコンに接続しなおしてから以下の操作を行ってください。

- 2 「USB メモリランチャー」を起動し、メイン画面の「ユーザードライブ初期化」をクリックします。

- 3 次の画面が表示されるので、「はい(Y)」をクリックします。



- 2 ユーザードライブがフォーマットされます。

- 3 パスワードも消去されます。

- 3 「USB メモリランチャー」を起動し、メイン画面の「パスワード」をクリックし、パスワードを設定します。

仕様とユーザーサポート

仕様

対応OS	Windows 7/Windows Vista(SP1, SP2) / XP(SP3)
インターフェイス	USB2.0/1.1
外形寸法	W 80.5 x D 20.5 x H 9 (mm) (コネクタ伸長時) W 68 x D 20.5 x H 9 (mm) (コネクタ収納時)
本体質量	14 g
最大転送速度	480Mbps (理論値)
暗号化方式	AES 256 bit

ユーザーサポートについて

よくあるご質問とその回答

www.elecom.co.jp/support
こちらから「製品 Q&A」をご覧ください。

【お電話・FAX によるお問い合わせ(ナビダイヤル)】

エレコム総合インフォメーションセンター

TEL : 0570-084-465
FAX : 0570-050-012

「受付時間」
9:00 ~ 19:00
年中無休

※本製品の保証書は再発行致しませんので内容をお確かめの上大切に保管してください。

- 保証規定
- 保証内容
1. 弊社が定める保証期間(本製品ご購入日から起算されます。)内に、適切な使用環境で発生した本製品の故障に限り、無償で本製品を修理または交換いたします。ただし、本製品保証のソフトウェアエリアは保証規定の対象外となります。
 - 2. 以下の場合には、保証対象外となります。
(1) 保証書および故障した本製品をご提出いただけない場合。
(2) 保証書に記載のない購入年月日の記載がない場合、またはご購入日が確認できる証明書(レシート・納品書など)をご提示いただけない場合。
(3) 保証書に偽造・改変などが認められた場合。
(4) 弊社および弊社が指定する機関以外の第三者ならびにお客様による改造、分解、修理により故障した場合。
(5) 弊社が定める機器以外に接続、または組み込んで使用し、故障または破損した場合。
(6) 通常一般家庭内で想定される使用環境の範囲を超える温度、湿度、振動等により故障した場合。
(7) 本製品を購入いただいた後の輸送中に発生した衝撃、落下等により故障した場合。
(8) 地震、火災、落雷、風水害、その他の天変地異、公害、異常電圧などの外的要因により故障した場合。
(9) その他、無償修理または交換が認められない事由が発見された場合。
 - 3. 修理
修理のご依頼は、本保証書の本製品に添えて、お買い上げの販売店
- 無償保証範囲
- 2. 以下の場合には、保証対象外となります。
(1) 保証書および故障した本製品をご提出いただけない場合。
(2) 保証書に記載のない購入年月日の記載がない場合、またはご購入日が確認できる証明書(レシート・納品書など)をご提示いただけない場合。
(3) 保証書に偽造・改変などが認められた場合。
(4) 弊社および弊社が指定する機関以外の第三者ならびにお客様による改造、分解、修理により故障した場合。
(5) 弊社が定める機器以外に接続、または組み込んで使用し、故障または破損した場合。
(6) 通常一般家庭内で想定される使用環境の範囲を超える温度、湿度、振動等により故障した場合。
(7) 本製品を購入いただいた後の輸送中に発生した衝撃、落下等により故障した場合。
(8) 地震、火災、落雷、風水害、その他の天変地異、公害、異常電圧などの外的要因により故障した場合。
(9) その他、無償修理または交換が認められない事由が発見された場合。
- 免責事項
- 8. 本製品の故障について、弊社に故意または重大な過失がある場合を除き、弊社の債務不履行および不法行為等の損害賠償責任は、本製品購入代金を上限とさせていただきます。
 - 9. 本製品の故障に起因する派生的、付随的、間接的および精神的損害、逸失利益、ならびにデータ損害の補償等につきましては、弊社は一切責任を負いかねます。
- 有効範囲
- 10. この保証書は、日本国内においてのみ有効です。
 - 11. 本保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。
- 保証内容
- 1. 弊社が定める保証期間(本製品ご購入日から起算されます。)内に、適切な使用環境で発生した本製品の故障に限り、無償で本製品を修理または交換いたします。また、ご送付いただく際、適切な梱包の上、紛失防止のため受渡の確認できる手段(宅配や簡易書留など)をご利用ください。尚、弊社は運送中の製品の破損、紛失については一切の責任を負いかねます。
 - 2. 同機種での交換ができない場合は、保証対象製品と同等またはそれ以上の性能を有する他の製品と交換させていただきます場合があります。
 - 3. 記憶メディア・ストレージ製品において、修理センターにて製品交換を実施した際にはデータの完全は行わず、全て初期化したままとなります。記憶メディア・ストレージ製品を修理に出す際には、お客様ご自身でデータのバックアップを取っていただきますようお願い致します。

ウイルスチェック機能付 USB 2.0 フラッシュメモリ MF-TMU2xxx シリーズ ユーザーズマニュアル 2011年4月1日 第1版

- ・本ユーザーズマニュアルの著作権は、エレコム株式会社が保有しています。
- ・本ユーザーズマニュアルの内容の一部または全部を無断で複製/転載することを禁止させていただきます。
- ・本ユーザーズマニュアルに記載の Trend Micro USB Security for Biz に関する内容は、2011年3月15日時点のものであります。今後、当該内容は予告なく変更される場合があります。
- ・本ユーザーズマニュアルの内容に関しては、万全を期しておりますが、万一ご不明な点がございましたら、弊社総合インフォメーションセンターまでご連絡願います。
- ・本製品の仕様および外観は、製品の改良のため予告なしに変更する場合があります。
- ・実行した結果の影響につきましては、上記の理由にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- ・本製品のうち、戦略物資または役務に該当するものの輸出にあたっては、外為法に基づく輸出または役務取引許可が必要となります。
- ・TRENDMICRO、ウイルスバスター、および Trend Micro USB Security は、トレンドマイクロ株式会社の登録商標です。
- ・Windows 7、Windows Vista 及び Windows ロゴ は、Microsoft の企業グループの商標です。
- ・その他の会社名、商品名は各社の商標または登録商標です。